

謝辞

本研究に取り組み、学位論文をまとめるまでには、多くの方々のご支援とご指導を賜りました。博士論文を上梓するにあたり、お世話になった皆様方に、この場をお借りして感謝の意を申し上げます。

はじめに、主指導教官であるお茶の水女子大学の浜野隆教授には、教育開発分野で初学者である筆者を受け入れて、正式に指導教授になっていただく以前から、教育分野の基礎的知識にはじまり、研究手法など、研究に関するあらゆることを教えていただきました。浜野先生には、博士論文の完成まで、常に厳しくも親心を感じる丁寧なご指導を賜り、非常に感謝しております。また、論文提出期限が迫り、心配と不安な時期に励ましのお言葉をいただき、勇気付け、論文執筆に前向きに取り組むことができるよう心強く支えてくださいました。浜野先生の奨励とサポートのおかげで、予定通りに博士論文を提出することができたと思っております。本当にありがとうございました。

また、副指導教官である富士原紀絵先生は、いつも笑顔で相談に乗ってくださる母親のような存在であり、筆者の研究がより良いものになるよう導いていただきました。心より感謝しております。そして、論文審査の労を引き受けて下さった審査委員会の池田全之先生、小玉亮子先生、丸山 英樹先生にも感謝いたします。お忙しい中でも丁寧に筆者の論文を読み、貴重なコメントをくださって、ありがとうございました。

研究をするということに対して、様々な助言、励ましを与えてくださったゼミの同級生と先輩方にもありがとうございました。ネパールの留学生である筆者には日本語は第3の言語であり、特に漢字は苦手です。日本語で博士論文を執筆することは非常な苦勞が伴いましたそんなとき、お忙しい中でも、筆者の論文を読み、筆者が言いたいことを素直な日本語に修正して下さった高梨宏子さん、加藤由里子さん、箱根敦子先生、山口紀子さん、谷原正さんには心からお礼を申し上げます。加えて、現地調査の実施、データ分析、及び論文にアドバイスとコメントをして下さった、子浦恵さんと辰巳哲子さんにも感謝の意を伝えます。皆さんの研究姿勢は筆者にとっても学ぶべきものでした。非常にありがたく思っています。

本研究は、多くの方々の協力なしには、完成させることができなかつたと思います。以下の方々にも深い感謝の意を表しておきたいです。ネパールの盆地での現地調査で、質問紙調査、FGD 調査及びインタビュー調査の際に協力して下さった児童の皆さん、ストーリーチルドレンの皆、校長先生をはじめとする教員の方々、NGO のの方々、ありがとうございました。また、現地調査の際に手伝ってくれた研究生である **Salauna Bajracharya** にも深く感謝します。

筆者を経済的に支えて下さった、お茶の水女子大学、本庄国際奨学財団、渥美国際交流財団にも心から感謝いたします。現地調査及び研究業績を積む際に巨額の投資が必要なとき、自費留学生である筆者を信じて、経済的に支えて下さいました。また、日本での 11 年間の留学生生活を、経済的にサポートして下さった小林奨学財団、とうきゅう留学生奨学財団にもお礼を申し上げます。

最後に、筆者の博士課程への進学希望を応援してくれた夫の **Jiwak Raj Bajracharya** と義理の母 **Yechu Devi Bajracharya** には特に心からの感謝を伝えたいと思います。日本での博士課程在学中には、私の両親と、夫の両親、そして私たちの家族全員が、ネパールで赤ん坊の娘の面倒を見てくれました。両方 **Bajracharya** 家族にも心から感謝の気持ちを伝えておきたいです。そして誰より、夫の **Jiwak** は、家庭内でも、研究面でも筆者を一番に支えてくれました。

博士課程を得るためにかけたこの 4 年間で最も苦勞したのは、娘である **Jinu Bajracharya** です。生後 6 ヶ月から 3 歳まで私の手を離れ、分かれて生活しました。また、一緒に暮らすようになって、研究と論文執筆と一緒に過ごした時間がほとんどなく、娘には非常に申し訳ない気持ちです。今後は娘と家族のための時間を取りたいと思います。

これほど多くの皆様に支えられて本研究を終えられたことに、改めて深い感謝を覚えずにはいられません。本当にありがとうございました。

2018 年 3 月 14 日

DINU Bajracharya